



藤井園彦・監修

新装版

俳句辞典

学生の
まんが

古池や蛙のこゝろ
とびこみ 権



TRƯỜNG ĐẠI HỌC CÔNG NGHIỆP
TRUNG TÂM THÔNG TIN THƯ

Mã sách: 080703639



俳句の作り方もよくわかるよ!

ことばをじょうず
ことばの美しさを知る
…ための辞典

俳句が、まんがとイラストで、楽しくわかるよ!
声に出して読みたい名句がいっぱい!

オールカラー

Gakken

TRƯỜNG ĐẠI HỌC CÔNG NGHIỆP HÀ NỘI
TRUNG TÂM THÔNG TIN THƯ VIỆN
08 07
03889

小学生の

まんが

新装版
しんそうばん

藤井國彦・監修
ふじくにひこ・監修

俳句辞典



Gakken

はじめに

俳句をつくってみようという人たちがふえています。俳句は日本で生まれ、日本でつくられ続けた世界一短い詩です。このような日本の文芸にみなさんが親しんでくれることは、たいへんうれしいことです。

この本は、わかりやすく俳句の手ほどきをしたいと思いつくりました。ごらんのように、親しみやすいまんがで、話をすすめています。だから、みなさんはまんがを読んでいるうちに、俳句のことがみんなわかってしまうというわけです。

この本を読みながら、あるいは読み終わってから、次のようなことをやってみてください。

- 1 この本に出ている俳句を、大きな声を出して読み、できるだけたくさん覚えてしまう。
 - 2 覚えた俳句を、家族の人やお友だちに教えてあげたり、俳句でかるたをつくったりして遊ぶ。
 - 3 俳句をつくって、みんなで俳句を見せ合ってできばえを話し合ったり、自分の句集をつくったりする。
- こんなことをして、楽しく遊んでいるうちに、みなさんの国語の力もどんどんのびていくことでしょう。

俳人協会評議員・「狩」同人

藤井 圀彦



もくじ

俳句はいくつてなあに

11

俳句はいく四つよつの物語ものがたり

31

松尾芭蕉まつお ばしょう

旅たびに生いきた人ひと

32

与謝蕪村よさ ぶそん

俳句はいくに生いきる画が家の目め

42

小林一茶こばやし ひとし

弱よわい者ものへの温あたたかいまなざし

52

正岡子規まさおか しかき

俳句はいくへの情熱じょうねつと生涯しょうがいの友とも

62

春はる・夏なつ・秋あき・冬ふゆの名句めいしゆく

71



春

雪とけて村一ばいの子どもかな

残雪やごうごうと吹く松の風

梅が香にのつと日の出る山路かな

梅一りん一輪ほどのあたたかさ

よくみればなづな花さく垣ねかな

バスを待ち大路の春をうたがはず

赤い椿白い椿と落ちにけり

春の海終日のたりのたりかな

はこべらや焦土のいろの雀ども

校塔に鳩多き日や卒業す

雲雀より空にやすらふ峠かな

山路来て何やらゆかしすみれ草

卒業の兄と来てゐる堤かな

遠足のおくれ走りつながらりし

外にも出よ触るるばかりに春の月

ゆうぜんとして山を見る蛙かな

花ちるや耳ふつて馬のおとなしき

春風や闘志いたきて丘に立つ

なの花のとつばづれなりふじの山

小林一茶

村上鬼城

松尾芭蕉

服部嵐雪

松尾芭蕉

石田波郷

河東碧梧桐

与謝蕪村

石田波郷

中村草田男

松尾芭蕉

松尾芭蕉

芝不器男

高浜虚子

中村汀女

小林一茶

村上鬼城

高浜虚子

小林一茶

72

74

75

76

77

78

79

80

82

83

84

85

86

87

88

90

91

92

93

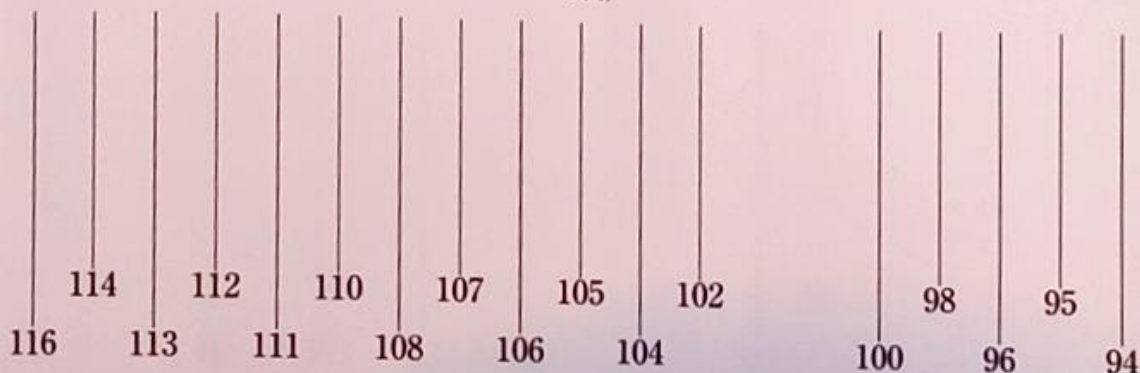
夏

春晩や水ほとばしり瓦斯燃ゆる
 高々と蝶こゆる谷の深さかな
 菜の花や月は東に日は西に
 古池や蛙飛びこむ水のを
 咲きみちて庭盛り上がる桜草

目には青葉山ほととぎすはつがつかつお
 つかみあふ子供のたけや麦畑
 青蛙おのれもペンキぬりたてか
 かたつむり甲斐も信濃も雨のなか
 こんこんと水は流れて花菖蒲
 万緑の中や吾子の歯生え初むる
 梅雨晴れやとところどころに蟻の道
 暑き日を海にいれたり最上川
 たたかかれて昼の蚊を吐く木魚かな
 やれ打つな蠅が手をすり足をすり
 雀らも海かけて飛べ吹流し
 蛭獲て少年の指みどりなり

中村汀女
 原 石鼎
 与謝蕪村
 松尾芭蕉
 山口青邨

山口素堂
 向井去来
 芥川龍之介
 飯田龍太
 白田亞浪
 中村草田男
 正岡子規
 松尾芭蕉
 夏目漱石
 小林一茶
 石田波郷
 山口誓子



秋

夏の蝶日かげ日なたと飛びにけり

さみだれや大河を前に家二軒

草の葉を落つるより飛ぶ螢かな

夏河を越すうれしさよ手に草履

研して山ほととぎすほしいまま

夏草に汽罐車の車輪来て止まる

五月雨の降りのこしてや光堂

下雲へ下雲へ夕焼け移り去る

閑さや岩にしみ入る蟬の声

さじなめて童たのしも夏氷

ピストルがプールの硬き面にひびき

涼風の曲がりくねつて来たりけり

夕だちや草葉をつかむむら雀

朝顔につるべとられてもらひ水

行水の捨てどころなし虫のこえ

くろがねの秋の風鈴鳴りにけり

荒海や佐渡に横たふ天の川

高浜虚子

与謝蕪村

松尾芭蕉

与謝蕪村

杉田久女

山口誓子

松尾芭蕉

中村草田男

松尾芭蕉

山口誓子

山口誓子

小林一茶

与謝蕪村

加賀千代

上島鬼貫

飯田蛇笏

松尾芭蕉

117

118

119

120

122

123

124

125

126

128

129

130

132

134

136

137

138



桐一葉日当たりながら落ちにけり

芋の露連山影を正しうす

天の川海の南へ流れけり

一連の露りんりんと系芒

赤蜻蛉筑波に雲もなかりけり

親よりも白き羊や今朝の秋

をりとりてはらりとおもきすすきかな

とどまればあたりにはゆるる蜻蛉かな

月天心貧しき町を通りけり

名月をとつてくれろと泣く子かな

四五人に月落ちかかるおどりかな

名月や池をめぐりて夜もすがら

この道の富士になりゆく芒かな

金剛の露ひとつぶや石の上

つきぬけて天上の紺曼珠沙華

露の玉嬢たちちとなりけり

秋深き隣は何をする人ぞ

大空にまたわき出でし小鳥かな

秋空を二つに断てり椎大樹

高浜虚子

飯田蛇笏

正岡子規

川端茅舎

正岡子規

村上鬼城

飯田蛇笏

中村汀女

与謝蕪村

小林一茶

与謝蕪村

松尾芭蕉

河東碧梧桐

川端茅舎

山口誓子

川端茅舎

松尾芭蕉

高浜虚子

高浜虚子

139

141

142

143

144

145

146

148

149

150

151

152

154

155

156

157

158

160

冬

庭十歩秋風吹かぬ隈もなし
菊の香やならには古き仏たち
鳥わたるこきこきこきと缶切れば

正岡子規
松尾芭蕉
秋元不死男

大根引き大根で道を教えけり
初しぐれ猿も小蓑をほしげなり
団栗の共にはかるる落ち葉かな
流れ行く大根の葉の早さかな
斧入れて香におどろくや冬こだち
小春日や石をかみ居る赤とんぼ
こがらしや海に夕日を吹き落とす
海に出て木枯らし帰るところなし
遠山に日の当たりたる枯れ野かな
冬蜂の死にどころなく歩きけり
旅に病んで夢は枯れ野をかけめぐる
靴紐を結ぶ間も来る雪つぶて
我宿へ来さうにしたり配り餅
ながながと川一筋や雪の原

小林一茶
松尾芭蕉
正岡子規
高浜虚子
与謝蕪村
村上鬼城
夏目漱石
山口誓子
高浜虚子
村上鬼城
村上鬼城
松尾芭蕉
中村汀女
小林一茶
野沢凡兆

183

180

178

176

174

170

168

182

179

177

175

172

169

166

164

161

自由律

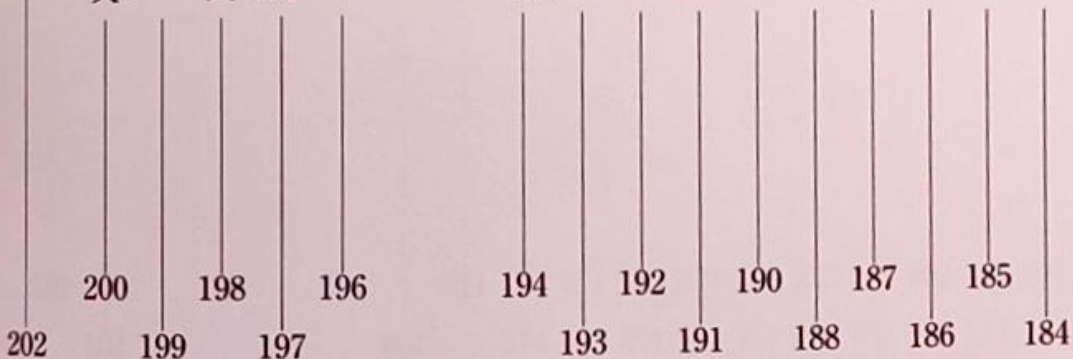
咳の子のなぞなぞあそびきりもなや
 白葱のひかりの棒をいま刻む
 むまそうな雪がふうはりふはりかな
 降る雪や明治は遠くなりにつり
 いくたびも雪の深さをたずねけり
 檻の鷺さびしくなれば羽搏つかも
 ゆきふるといひしばかりの人しづか
 スケートのひもむすぶ間もはやりつつ
 ともかくもあなた任せのとしの暮
 元日や手を洗ひをる夕心

こんなよい月を一人で見て寝る
 夕立やお地藏さんもわたしもずぶぬれ
 歩きつづける彼岸花咲きつづける
 咳をしても一人
 分け入つても分け入つても青い山

まだあるよ！ 自由律俳句

中村汀女
 黒田杏子
 小林一茶
 中村草田男
 正岡子規
 石田波郷
 室生犀星
 山口誓子
 小林一茶
 芥川龍之介

尾崎放哉
 種田山頭火
 種田山頭火
 種田山頭火
 尾崎放哉
 種田山頭火



俳句をつくろう

1 五・七・五のリズムになれよう

2 発見や感動を言葉にしよう

3 句をつくってみよう

4 仕上げを大切に――推敲しよう

5 句を発表しよう

203

204

210

216

234

240

俳句の資料室

季語一覧

俳句さくいん

作者さくいん

243

244

252

255

俳句であそぼう

70
・
101
・
133
・
165
・
195





9784053042743

ISBN978-4-05-304274-3

C6581 ¥1000E

9 784053 042740



1926581010001

定価
978円

小学生のまんが
俳句辞典 新装版

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1 小学生のまんがことわざ辞典 <small>改訂版</small> | 7 小学生のまんが言葉のきまり辞典 <small>新装版</small>
[文法・品詞・表現] |
| 2 小学生のまんが四字熟語辞典 <small>改訂版</small> | 8 小学生のまんが俳句辞典 <small>新装版</small> |
| 3 小学生のまんが慣用句辞典 <small>改訂版</small> | 9 小学生のまんが語源辞典 <small>新装版</small> |
| 4 小学生のまんが百人一首辞典 <small>改訂版</small> | 10 小学生のまんが言葉の使い分け辞典 <small>新装版</small>
[同音異義・異字同訓・類義語・反対語] |
| 5 小学生のまんが漢字辞典 <small>改訂版</small> | |
| 6 小学生のまんが敬語辞典 <small>新装版</small> | |